

「保育士になるってどういうこと？」

～ 幼稚園・保育園・認定こども園の子どもたちと保育者の姿から ～」講義と演習

### 3年「社会福祉基礎」の授業の様子です。

令和4年5月20日

学校のベランダに咲いている花を使って、紙に模様を描きました。

自然のもつ色の良さ… 材料は一緒でもいろんな表現がある。

例えば、外遊びが得意でない子どもに対して、滑り台で遊ぼうと言いつけさせるのではなく、その子が好きそうな外の環境を利用する…



## 生徒の声

保育の勉強は「遊び＝学び」であり「学び＝勉強」ではないことを知りました。保育には沢山の原点がありその原点を私は一つひとつしっかり学んでいきたいと思いました。「保育+福祉＝寄り添い信頼される人」だということを知ることができて良かったです。

大人が子どもに、1から10まで全部の事を教えるのではなく、子どもが環境や体験を通して、物事を理解していくことが大切だと分かりました。そして、遊んだり行事をする際は保育士と子どもたちが「共に」楽しむことが大切だと感じました。

保育士についてあまり詳しく知らなかったので勉強になりました。保育の一環として花を使って模様を描くのは初めてだったので、とても楽しかったし、勉強になりました。「私たちが思わないことを小さい子たちは思っているかもしれない」など、新たなことを知ることができてよかったです。

私は保育関係の仕事に就きたいと思っているので、今回の授業はすごくためになりました。小さい子と触れ合う時、今までは、「できない。」と言われてたら自分が代わりにやったりすぐに教えてしまうことが多かったのですが、自分でやることや考えることの大切さが分かったので、ボランティア等で小さい子と触れ合う時は少しずつ教えながら接していきたいです。また、保育士と幼児が対等な関係になることも大切だと分かったので、そんな関係になれるにはどうすればいいかをこれから考えながら進路に繋げていきたいと思いました。

自己肯定感がものすごく上がりました！お花やペットボトルを使ってみたり、小さい頃の思い出が蘇ってきて、とても楽しい時間になりました。講師の先生の優しさも、話を聞いていて分かったし、相手のことを考えたり相手がどうしたら楽しんでもくれるかなどを考えることの大切さを、改めて感じました。